

進路	研究・教育			伝統文化産業		地域文化産業	
	進学	教員・学芸員	研究・技術職・その他	製造・技術・販売 企画・営業	事務その他サービス	製造・販売・企画・営業	事務その他サービス
	京都造形芸術大学大学院・大阪大学大学院・神戸大学大学院・筑波大学大学院・立命館大学大学院	石川県立歴史博物館・舞鶴引揚記念館・奈良県十津川町立歴史民俗資料館・平和祈念展示資料館	大阪府教育委員会・滋賀県立琵琶湖博物館・名古屋城総合事務所・元興寺文化財研究所	(公財)美術院・(株)岡墨光堂・(株)修美・(株)仙太郎・(株)下鴨茶寮・(株)日本通運関西美術品支店	石清水八幡宮・相国寺・称名寺・(公財)京都古文化保存協会	(株)大安・(株)永楽屋・(株)叙々苑・こと京都(株)UTテクノロジー・(株)システムエグゼ	(株)自遊人・(株)錦水館・住友金屋(株)・(株)ユウ花園・(株)チャームケア・コーポレーション
DP	人間力			創造力		キャリアデザイン	
	科学的思考	知識/思考力	行動力/倫理観	発想力/構想力/表現力		歴史的観点	計画性/実行力
8 4 7 自身で課題を発見し、解決する	卒業研究・制作 4単位 行動する歴史学/歴史・文化・芸術による豊かな社会の創造に寄与する「歴史遺産論」を研究論文として構築し、発信する						キャリアデザイン
	歴史遺産学総合演習III 4単位 「歴史遺産論」を構築するための研究を進め、発表技術を身につける						
6 3 5 実践的プロジェクトにとりくみ、これまでの知識・経験をさらに高める	日本史特論IV 2単位 「日記」を読み、文化を学ぶ		歴史遺産学総合演習II 3単位 分野別で各自の研究を深める		歴史遺産プロジェクト演習III 2単位 文化財保護の第一線で働く専門家の活動を知り、実践的プロジェクトに取り組む		大学院特別選抜制度 合格者確定 キャリアインターンシップ 1単位
	日本史特論III 2単位 文献史学の基礎を学び、歴史資料による研究方法の基礎を身につける		歴史遺産学総合演習I 3単位 ゼミに所属し研究テーマ・研究計画を設定し、研究・実験方法を検討する		歴史遺産プロジェクト演習II 2単位 歴史文化・考古学・歴史まちづくり・文化財保存修復の各領域に分かれ、グループワークで取り組む		就職活動スタート 夏インターンシップ参加
4 2 3 専門知識や技術を体系的に学び、実力を養う	宗教学概論 2単位 宗教の成立と歴史を学ぶ	アジア史 2単位 アジアと日本の交流の歴史を学ぶ	京都地誌II 2単位 都市構想・空間認識により、京都の歴史を学ぶ(近世～現代)		歴史遺産プロジェクト演習I 2単位 文化財の保存・修復に必要な基礎技術を実践実習によって身につける		キャリアインターンシップ 1単位 就職活動キックオフ 企業・自治体研究
	日本史特論II 2単位 世界遺産から世界の文化財の保存修復の理念や課題を学ぶ		京都地誌I 2単位 都市構造・空間認識により、京都の歴史を学ぶ(古代～中世)		歴史遺産学基礎実習III 2単位 文化財の保存・修復に必要な基礎技術を実践実習によって身につける		
2 3	自然地理学 2単位 自然環境と文化との関係性を学ぶ	外国史 2単位 西洋文化・文明社会を考究する	史料講読III 2単位 近世文献史料の読解力基礎		史料講読IV 2単位 近世文献史料の読解力基礎		歴史遺産学基礎実習II 2単位 文化財の材料・素材、劣化メカニズムについて、観察・調査・実験・分析を通して理解する
	日本史特論I 2単位 原始・古代の歴史を考古学から学ぶ		史料講読II 2単位 紙の文化遺産について学ぶとともに、近世の文献史料の読解力の基礎を身につける		史料講読I 2単位 紙の文化遺産について学ぶとともに、近世の文献史料の読解力の基礎を身につける		
2 1 歴史遺産を見る眼を養い、調査・研究の意欲を高める	文化財庭園論 2単位 日本庭園の歴史・様式を学ぶ		人文地理学II 2単位 人と自然が織りなす文化の諸相を地理学的思考で読み解く		歴史遺産学基礎実習I 2単位 地域の歴史文化調査に必要な技術を身につける		必修(講義) 選択(講義) 必修(演習) 選択(演習)
	考古学II 2単位 考古学の調査技術の基礎を身につける		人文地理学I 2単位 文化的景観の読み解きを通じて、歴史文化を考究する		フィールドワークI 2単位 体験をノートにまとめる(記録)/具体的なモノ・対象から「歴史遺産」の価値を読み解く		
1 1	保存科学論 2単位 正倉院宝物の保存技術を学ぶ	コンピュータ演習 2単位 レポート作成に必要な技術を学ぶ	装こう文化財論 2単位 紙資料の保存修復方法・倫理		文化財建造物論 2単位 日本建築の様式を学ぶ		
	仏教芸術論 2単位 仏教思想による芸術の諸相を学ぶ		民俗文化財論 2単位 民俗文化財の価値を学ぶ		歴史遺産学概論II 2単位 歴史遺産保存の理論と技術を学ぶ		
	考古学I 2単位 考古学の基礎を学び、モノから歴史を紡ぎだす方法論を身につける		歴史遺産学概論I 2単位 歴史遺産の価値を学ぶ				



歴史遺産学基礎実習II	選択	2・3・4	演習	2	前期	○	◎	△										古文書・絵画の素材分析および保存科学実験基礎	①日本の紙の種類を識別し、制作（紙漉き）を通じてこれらの特性を理解する。②古文書の損傷に関して、その原因と対処方法を学び、修復に関する基礎実習を行う。③文化財の保存科学に関して、研究の基礎的方法論を学び、各種分析方法の基礎実習を行う。	①日本の紙の種類や物性について理解し、識別法の基礎を身につける。②古文書の損傷についてその原因を解明する方法を学び、保存修復技術の基礎を身につける。③文化財保存科学に関して、各種分析法の基礎理論を理解し、各種分析機器の操作法を身につける。④実験計画・実験ノートの作成を通じ、研究方法の基礎を身につける。
歴史遺産学基礎実習III	選択	2・3・4	演習	2	後期	○	◎	△										建築彩色技法ならびに民具の保存修復実習	①寺院建築における彩色の保存修復に関する基礎実習（模写、補彩）②民具を主とした生活資料について、クリーニング・調書作成・保存修復等の基礎実習を行う。	①模写を通して日本画の基礎技術を学ぶとともに、建築彩色技術の基礎を身につける。②民具の種類を見分ける力を養い、保存修復の基礎技術を習得する。
歴史遺産プロジェクト演習I	必修	2・3・4	演習	2	後期	○		◎					△	○				歴史遺産の調査・保存・修復・活用に関する課題に取り組む。	歴史文化系、考古学・歴史まちづくり系、文化財保存修復系の3つの領域に分かれ、それぞれに関するプロジェクトにグループワークで取り組む。	①専門領域に関して、調査研究等に関する理論的考察を行い、適切な実施計画を立案し、他社と協同して実行する。②活動成果を文章にまとめ、また公開発表する力を養う
歴史遺産プロジェクト演習II	選択	3・4	演習	2	前期													歴史遺産の調査・保存・修復・活用に関する実践的課題に取り組む。	歴史文化系、考古学・歴史まちづくり系、文化財保存修復系の3つの領域に分かれ、それぞれに関する実践的課題をグループワークで取り組む。	①現代社会から、歴史遺産に関する実践的課題を抽出する力を養う。②専門領域に関して、調査研究等に関する理論的考察を行い、適切な実施計画を立案し、他者と協同して実行する。
歴史遺産プロジェクト演習III	選択	3・4	演習	2	後期													歴史遺産の調査・保存・修復・活用に関する実践的課題の解決に取り組む。	歴史文化系、考古学・歴史まちづくり系、文化財保存修復系の3つの領域に分かれ、それぞれに関する実践的課題の解決にグループワークで取り組む。	①現代社会から、歴史遺産に関する実践的課題を抽出する力を養う。②専門領域に関して、調査研究等に関する理論的考察を行い、適切な実施計画を立案し、他者と協同して実行する。③活動成果を文章にまとめ、また公開発表する力を養う。④成果に対する反応を冷静に受け止め、今後の改善策を講じる力を養う。⑤各自が学んだ知識を活かし、プレゼンテーションなどを通じて、他者への正確な情報伝達方法を身に付ける。
歴史遺産学総合演習I	必修	3・4	演習	3	前期		○	△		◎								3回生ゼミ:進級論文作成に向けて	4年次での卒業論文作成にむけて、歴史遺産学における専門的な研究論文作成能力を養うことを目的とする。ゼミに所属し、先行研究の講読、研究テーマおよび研究計画の設定、研究・実験方法の検討を行い、中間発表会で中間成果を報告する。	先行研究を学ぶことにより、歴史遺産学に関する広範な専門的知識を身につける。ゼミ発表や小レポート作成により、論理的思考と文章表現能力を向上させる。論議や口頭発表により、表現力を向上させる。卒業論文にむけてのテーマを決定する。
歴史遺産学総合演習II	必修	3・4	演習	3	後期			△		○	◎							3回生ゼミ:研究論文をまとめ、発表する	「歴史遺産学総合演習I」での成果を発展させ、各自が具体的な研究テーマを設定し、研究論文に取り組む。授業では各自が進行状況を報告し、論議する。	具体的な研究テーマ・研究計画を各自が設定し、進級論文を執筆するなかで論理的思考能力と文章表現力を向上させること。また、成果について客観的に分析し、到達点と課題を認識し、卒業研究の課題設定を行う。
歴史遺産学総合演習III	必修	4	演習	4	前期					○	◎		△					新たな知見をもつ研究論文を執筆する	段階的に蓄積してきた基礎的教養と専門的知識・技術をベースとして、歴史遺産の保存・修復・活用を地域社会において実践することの意義をあらためて認識しつつ、各自がこれに資するに足る「歴史遺産論」を構築するための研究を進める。	課題解決に向けて長期間にわたって計画的に取り組むことで、持続力を身に着ける。的確なデータ収集と分析を行うことこれに依拠した論述によって論理的思考能力・文章表現力を向上させる。新たな知見を生み出すことによって創造の喜びを得る。
卒業研究・制作	必修	4	演習	4	後期		◎	○	△									新たな知見をもつ研究論文を執筆し発表する	段階的に蓄積してきた基礎的教養と専門的知識・技術をベースとして、歴史遺産の保存・修復・活用を地域社会において実践することの意義をあらためて認識しつつ、各自がこれに資するに足る「歴史遺産論」を構築し、卒業論文を執筆し発表する。	課題解決に向けて長期間にわたって計画的に取り組むことで、持続力を身に着ける。的確なデータ収集と分析を行うことこれに依拠した論述によって論理的思考能力・文章表現力を向上させる。新たな知見を生み出すことによって創造の喜びを得る。卒業論文を完成させることで、課題抽出からアウトプットまでの方法論を身に付ける。